

山梨県における主な水害（明治以降）

発生年月	被害の状況
1896(明治 29)年 9 月	台風の大雨により釜無川流域被害甚大。特に御勅使川出水甚だし。死者 33 人
1898(明治 31)年 9 月	県下大水害。死者 150 人
1907(明治 40)年 8 月	県下大水害。死者 232 人、家屋全壊・流失 5,767 戸、浸水家屋 15,057 戸
1910(明治 43)年 8 月	前線と台風による豪雨により県下一面大洪水。盆地南部一帯被害甚大。死者 24 人。
1912(大正元)年 9 月	台風による暴風雨で被害甚大。死者 54 人、家屋全壊 2,601 戸。
1920(大正 9)年 8 月	台風の大雨により南都留郡下の被害大。死者 18 人。
1922(大正 11)年 8 月	台風の大雨により東山梨郡下の被害大。死者 55 人。
1934(昭和 9)年 9 月	室戸台風で県内でも大きな被害。死者 13 人、全壊・流失家屋 507 戸。
1935(昭和 10)年 9 月	前線と台風の大雨により全県下に被害。特に富士川、塩川等で被害甚大。死者 39 人。
1936(昭和 11)年 9 月	前線と低気圧の大雨により東山梨郡、東八代郡に被害。死者 22 人。
1945(昭和 20)年 10 月	前線と台風の大雨により死者・行方不明 36 人、全壊・半壊 256 戸、浸水 6,130 戸。
1947(昭和 22)年 9 月	カスリン台風来襲。死者 16 人。
1959(昭和 34)年 8 月	台風 7 号により県下に豪雨。空前の大被害。死者 90 人。
1959(昭和 34)年 9 月	台風 15 号(伊勢湾台風)来襲。死者 15 人。
1966(昭和 41)年 7 月	甲府市の相川等が集中豪雨で氾濫。死者 1 人、全壊・半壊 104 戸、浸水 14,528 戸。
1966(昭和 41)年 9 月	台風 26 号により足和田村、芦川村、上九一色村等被害。死者 175 人。
1982(昭和 57)年 8 月	台風 10 号に伴う大雨により県下全域に被害発生。死者 7 人。
1983(昭和 58)年 8 月	台風 5,6 号に伴う大雨により県下全域に被害発生。死者 2 人。河口湖増水。
1991(平成 3)年 8 月	台風 12 号を取り巻く雨雲が県東部に停滞。大月市で死者・行方不明 8 人。
1991(平成 3)年 9 月	秋雨前線と台風 18 号の大雨により狛介に被害。特に芦川村の被害大。死者・不明 2 人。
1991(平成 3)年 8 月	秋雨前線と相次ぐ台風で富士五湖増水。湖畔道路冠水。浸水住家 13 戸。
1998(平成 10)年 9 月	台風 5 号の大雨と強風により県内全域で被害。死者 1 人、床上浸水 43 戸、床下浸水 274 戸。被害総額約 58 億 48 百万円。
2000(平成 12)年 9 月	9/11～12 に甲府地方気象台観測史上最高の 310mm(甲府市)を記録。床上浸水 103 棟、床下浸水 532 棟。被害総額約 102 億 18 百万円。
2001(平成 13)年 9 月	台風 15 号の大雨で県南部及び東部で大きな被害発生。被害総額約 62 億 81 百万円

(「山梨県地域防災計画（第 2 章 一般災害編）」より)